

つながる @東京

4

「くしゃみをしたらどうなりますか?」
無線通信で国際宇宙ステーション(ISS)の大西卓哉飛行士に尋ねる。

大西さんは「地上と違い、(飛沫が)どこまでも飛んでいくので口をおおるのが大事」と答えた。
2025年8月に大阪・関西万博の会場が開かれたアマチュア無線のイベント。NASA(米航空宇宙局)の教育プログラムの一環として、子どもたちがISSとの交信に挑んだ。その中に、文京区の高松2年の相川一真さん、衣斐航太朗さん、吉田絢音さん、高校1年の今井陽平さんがいた。

「ベンチャースカウト隊」に所属する4人が無線に興味を持ったきっかけは、区が開いた災害対策訓練だ。インターネットが使えなくても通信できる点に魅力を感じ、全員がアマチュア無線の資格を取得した。

ISSとの交信準備は約2カ月前から始まり、英語で質問の練習をしたり、南極基地との交信をしたり。ISSは時速2万8千キロで地球を回るため、本番で交信できるのはわずか10分しかない。いよいよ当日。クリアな声がスピーカーから流れた。「すぐそばで話しているようだった」と、吉田さんは驚いた。



国際宇宙ステーション(ISS)と交信した高校生=文京第6団ベンチャースカウト隊提供

アマ無線 声のせ世界と交信

「宇宙と通信できたのは一生の思い出。今後は災害時に役立てたい」。4人は無線の訓練を続けるつもりだ。

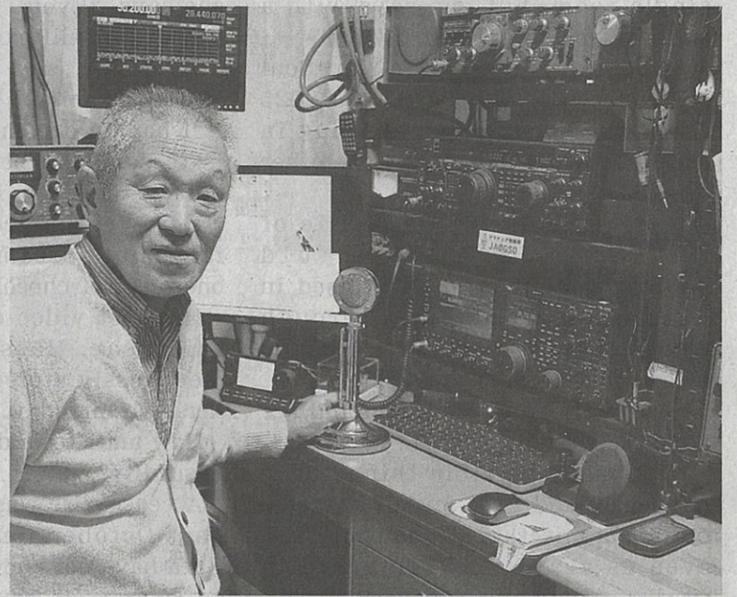
無線が「命綱」となり、遭難救助につながった人もいる。

電気工事業を営む大田区の男性(60)は登山が趣味。ヤブがある道なき道を行くのを好み、山の頂上からはアマチュア無線の交信をしてきた。

24年6月、新潟県で標高約660メートルの山の頂上までたどり着き、下山の途中で気づいた。「ポケットに入れていたはずのスマホがない」。その時、すでに夕方。クマの出没情報も聞いていた。自力で下山しようか迷った。足元は暗く、頼りにしていたスマホのGPSも使えない。

小型の無線機だけは身につけていた。周波数を合わせ、聞こえてきた見知らぬ人同士の会話に、必死に呼びかけた。「すいません。道に迷ってしまいました。携帯をなくしてしまいました。電波は弱くて途切れ途切れ。交信を聞いていた別の無線家、新潟市の和田彰彦さん(69)が声をかけてくれました。「救助要請しますか」。男性は「お願いします」と即答した。

和田さんが県警に通報。翌朝にヘリコプター



⑤アマチュア無線を楽しむ和田彰彦さん=本人提供
⑥遭難時に「命綱」となったアマチュア無線機を手にする男性=都内



が出動し、男性は救出されて事なきを得た。「和田さんと出会えなかったら、自分はどうなっていたらどうか」と何度も考えます」と振り返る。

「CQ、CQ」「聞いている方がいらっしやれば、コールしてください」。電波ののって来た声が無線機から流れてくる。障害者らの無線クラブ「JASC」が毎週末、定例で催している会員同士のロールコール(交信会合)。全国各地の会員らが毎回10人弱参加する。話題は、地域の祭りやイベント、仕事の近況報告など多岐にわたる。「あなたもハム(アマチュア無線)で外へ出られる!」。JASCはそんなうたい文句で、練馬区の田原強さんを中心に1974年に結成された。当時は障害者への理解は進んでおらず、障害者は根強い偏見から家に閉じこもりがちだった。田原さんは生まれつき両手両足が不自由で、外出の行動範囲も限られていた。だが、養護学校の高等部時代、無線をきっかけに、不特定多数の人と交信して健常者の友人が初めてできた。「在宅の障害者にも広めたい」とJASC設立にこぎ着けた。

宇宙に / 遭難者に / 友人に... 届いた!

JASCは障害者への免許取得の支援や全国各地での会合開催などを展開。会員にはさまざまな障害がある人に健常者も加わり、94年には2500人を超えるほどになった。インターネットの普及などで会員数は減少し、今は約60人となった。25年10月には強さんが亡くなった。それでも、無線という共通の趣味を通じて人とつながる楽しさは変わらない。両足が不自由で車いす生活を送る江東区の菅野靖士さん(66)は3年前に入会した。「みんな温かい。障害を越えたつながりを持っているのが魅力だ」と話す。

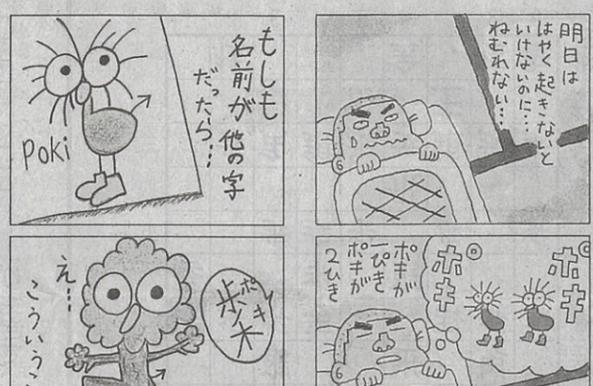
JASCの副会長を務める、強さんの長男謙一さん(48)は言う。「無線を使ってひたすらまっすぐ遊ぶサークル。どんな人ともフラットな関係でいられるのが良いのではないか」(立岩稜一、上田学)



2024年5月に静岡県の十国峠で移動局を設けた田原強さん(左)=田原謙一さん提供

ポキ4コマまんが 国内外から54作品

三鷹市のキャラクター「Pok i(ポキ)」をテーマにした4コマまんがのコンテストの審査結果が発表された。541作品が国内のほかロシアや英国からも寄せられ、市の担当者は「これだけの応募があるのはうれしい。コンテストが浸透してきた」としている。Pok iは、三鷹の森ジブリ美術館が開館した2001年、スタジオジブリの宮崎監督が描いたキャラクター。コンテストは22年に始まり、今回で4回目だ。一般部門で最優秀賞に選ばれたのは、ペンネーム「西田貴也」さん(秋田県在住の46歳)の「明日はほくろが起きないでいけないうちのポキ」。



大井競馬場アリーナ計画 エンタメも堪能 厩舎は場外移転

大井競馬場(品川区)の所有会社「東京都競馬」は、競馬場の敷地内に音楽ライブなどを開けるアリーナを建設する計画の概要を明らかにした。インターネットでの馬券購入が普及し来場者が減るなか、新たなにぎわいの拠点とする考えだ。12月19日に発表した中期経営計画では、「競馬だけでなく、スポーツ・ライブを楽しめる都心型エンターテインメント競馬場を実現」する方針を表明。厩舎などを場外へ移転して競馬場全体を再整備し、現在は駐車場などがある敷地の北西側にアリーナ(左)と競馬場(右)を併設する計画が示されている。

東京

千代田 中央 新宿 港 文京 品川 北 目黒 大田 世田谷 渋谷 中野 杉並 豊島 板橋 練馬

デジタル版 ニュースはこちら
首都圏ニュースセンター 東京総局 〒104-8011 中央区築地5-3-2 TEL 03-5541-8435 FAX 03-3545-2019 tokyo@asahi.com

きょうの天気 6~12時 降水確率 12~18時

20	大手町	10
20	練馬	10
20	府中	10
20	八王子	10

大手町	府中
南南東	南東
練馬	八王子
南東	東南東
湿度 50%	波 1.0m
気温	最高 最低
大手町	13度 2度
練馬	13度 0度
府中	14度 0度
八王子	13度 -1度

あす

大手町	府中
北北西	北
練馬	八王子
北北西	北北東
湿度 30%	波 1.0m
1月6日 (旧11月18日)	
日 6.51	16.42
月 19.55	19.55
月 8.58	8.58
月齢 17.1	

潮 6日・中潮 東京港